

おもちかえり

1) ミカ6章4節を読みましょう。モーセは兄アロン、姉ミリアムとどんな関係をもってイスラエルの民を導いていたと想像できますか。アロンとミリアムの存在はモーセにとってどんなものだったのでしょうか。

2) 民数記12章10節、11節、民数記16章47節、48節、詩篇106篇16節を読みましょう。口下手なモーセに代わりアロンは民に語りかけました。彼の名は聖書に312回も出てきます。これらからアロンのどんな人柄がうかがい知れますか。

3) 出エジプト記32章1節を読みましょう。これに対してアロンは出エジプト記32章2節－6節に記されているように対応しました。アロンはなぜ民の要求にやすやすと応えたと思いますか。

4) 出エジプト32章21節－25節を読みましょう。誰が金の子牛を作りましたか。ここからアロンのどんな心がうかがい知れますか。なぜアロンのような人が民がほしいままにふるまうに任せたのでしょうか。

5) レビ記10章1節－3節を読みましょう。アロンの子、ナダブとアビフに起きたことは何ですか。アロンと同じ祭司になろうとしているナダブとアブフにそのつとめを教える責任をもっているのは誰ですか。彼らに対してアロンはどんな指導をしていたと想像できますか。この事と彼がイスラエルの民に示した態度にはどんな共通点がありますか。

6) 今日、あなたはこのアロンの生き方から何を学びましたか。